

# 「2020年サステナビリティ重要課題・目標」結果報告

中核主題		重要課題(貢献するSDGs)	2020年目標に向けた取り組みの方向性	2020年目標およびKPI	2020年実績
E	環境	1 サステナブルな地球環境のための取り組み推進 6 7 9 12 13 14 15 17	持続可能な社会と事業の発展の両立を目指して、生活者・地域社会とともに、地球環境保全活動を積極的に推進する	・環境経営マネジメントの推進 1) 環境目標「Eco Vision 2020」の推進・達成(グローバル) 2) 家庭での使用段階も含む製品ライフサイクル全体で環境負荷を最小化する「新環境目標2030」の制定(グローバル) 3) 化学物質の適正使用・管理の推進(グローバル) 4) トップ環境監査・サステナビリティ推進会議*1における環境マネジメントの進捗状況の確認・見直しの実施(国内)	1) 環境目標「Eco Vision 2020」達成に向けて活動を継続推進した。 2) 長期環境目標「LION Eco Challenge 2050」を制定(2019年) 3) 化学物質の適正使用・管理を推進し、重大な法令違反の発生無し 4) -①トップ環境監査実施(国内)：各工場3年に一度の監査を実施。 ※2020年予定していた環境監査は、新型コロナウイルス感染拡大により2021年に実施予定。 4) -②サステナビリティ推進会議にて環境マネジメントを継続推進(国内)
		2 人権の尊重 5 8 10 16 17	人権を尊重するグループ体制を構築する	・グループ理念に基づく人権尊重に向けた取り組みの強化 1) オールライオンの人権方針の策定(グローバル) ・社内外通報・相談窓口の拡充 1) AL心のホットラインの認知率100%(国内)	1) ライオングループ「ライオン人権方針」を2019年制定し、Webサイトで開示。人権尊重に関する取組みを推進。 1) AL心のホットライン認知率(国内)：99.5% <参考> 98.5%(2018年)、98.6%(2019年)
S	労働慣行	3 ダイバーシティの推進 5 8 10	多様な人材活用により、創造的な事業活動を拡大する	・女性マネジメント層の活躍推進 1) 次世代マネジメントを牽引する女性従業員の育成(グローバル) 2) 女性マネジメント層比率20%(国内)	1) 次世代経営層人材育成研修実施。過去参加女性メンバーの海外現地法人役員任用(2名) 2) 女性マネジメント層比率(国内)：18.4%
		4 ワーク・ライフ・バランス推進 3 8	働き方改革により、従業員の躍動感を創出する	・「生産性の高い仕事と生活の調和」に向けたスマートワーク*2の実現 1) 従業員意識行動調査の実施(国内) 2) 有給休暇取得率70%(国内)	1) 社内意識調査アンケート実施(国内)：年1回実施 2) 有給休暇取得率(国内)：68.6% <参考> 60.3%(2018年)、73.7%(2019年)
		5 人材育成 5 8 10	グローバルステークホルダーの期待に応える多様な豊かな思考を持つ人材育成により、人的ダイナミズムを創出する	自ら学び、行動する人材輩出のための人材開発体系の整備	・イノベーションをつくり出す人材の発掘「ReDesign Forum」開催(国内) ・自律的な能力開発を支援する「ライオン・キャリアビレッジ(LCV)」の拡充(国内) オンライン学習受講率：88% 集合ケース講義延べ実施回数：46回 集合ケース講義参加率(オンライン受講含む)：14%
		6 労働安全管理体制の充実 3 8	グループ全体の労働安全衛生マネジメント体制を強化・徹底する	・労働安全・設備安全の徹底 重大事故0件・重大災害0件(グローバル)	重大事故0件・重大災害0件 ・安全衛生防災会議を計画通り1・7月実施し、PDCA推進を継続(国内) ・安全衛生防災会議 議長・副議長(取締役)によるトップ安全監査実施(国内)：各工場・事業所とも3年に一度の安全監査を実施。 ※2020年は新型コロナウイルス感染拡大により、一部2021年4月実施。 ・海外関係会社に安全管理維持状況を確認し、各社の状況に応じて指導・助言を実施。(海外)
		7 健康経営の強化 3 8 17	次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーに相応しいライオン流健康経営モデルを構築する	・従業員のヘルスケア習慣定着に向けた支援施策の拡充 1) 健康診断受診率100%(国内) 2) 歯科健診受診率100%(国内) 3) 年代別がん検診受診率100%(国内)	1) 健康診断受診率(国内)：100% <参考> 100%(2018年)、100%(2019年) 2) 歯科健診受診率(国内)：新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年は実施せず <参考> 93.0%(2018年)、91.8%(2019年) 3) 年代別がん検診受診率(国内)：新型コロナウイルス感染拡大の影響で2020年は実施せず <参考> 84%(2018年)、(2019年実施せず)
		8 責任あるサプライチェーンマネジメントの構築 5 6 7 8 10 12 13 14 15 16 17	サプライチェーンで実効性の高いマネジメントを推進する	・先進的でサステナブルなサプライチェーンの整備 1) 調達に関するサプライヤーサステナビリティセルフチェックの実施(グローバル) 2) 調達に関するサプライヤーサステナビリティセルフチェック実施率100%(国内)	1) サプライヤーサステナビリティセルフチェック実施 2) セルフチェック実施率(国内)：100% <参考> 98%(2018年)、99%(2019年)
		9 お客様の信頼と満足の追求 3 10 12	グループ全体でお客様から信頼される企業活動を徹底し、顧客志向経営を進化させる	・サプライチェーンを網羅した信頼性保証体制の強化 ・お客様対応品質強化によるお客様満足度の向上 ・システム構築と管理マネジメント強化によるセキュリティ体制の強靱化	・海外関係会社との品質保証体制強化を目的にアジアQA会議を毎年実施 ・電話スタッフのお客様対応品質強化に向けて参加の応対コンクールで2年連続地区大会優勝(国内) お客様対応部門関連資格(対応力・顧客理解力・関連分野知識等)保有件数：2020年：58件お客様の声(VOC)を起点とした、事業部門、研究開発部門、営業部門、生産工場等との協働体制を拡充 ・情報セキュリティに関するe-ラーニング受講率(国内)：2020年実施内容については、2021年に受講 <参考> 100.0%(2019年)
10 健康な生活習慣づくり 3 4 6 12 17	人々の健康寿命の延伸・Well-Beingな毎日を目指して、オーラルヘルスケア・清潔衛生習慣など、健康な生活習慣づくりに貢献する	・事業活動と連携した、予防歯科・手洗い習慣などのヘルスケア習慣定着に向けた活動の実施 ・「地域との共生」「従業員の参画」「パートナーシップの強化」を基本とした社会課題解決への貢献	・ライオングループ全体で予防歯科活動を推進・継続「第77回全国小学生歯みがき大会」参加者(申込)数：日本をはじめとする世界の小学生約27万人財団を通じたオーラルケアの普及活動実施(国内)ライオン・専門家・流通が三位一体となった「Preventive Dentistry」活動の推進(海外) ・地域との共生(国内)2019～2020年坂出市の健康関連職員のべ188名をオーラルヘルスケアリーダーに養成し、市民のべ5153名に啓発活動を実施。坂出市の公共施設101カ所に「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」を約1500個設置 ・従業員の参画(国内)手洗い習慣の普及促進活動参加従業員数/累積参加率：1,234人/39.5% ・パートナーシップの強化(国内)「夫婦円満都市推進プロジェクト」実施自治体：日南市・山形市・流山市・佐賀県・石巻市(2016年～現在)「オーラルヘルスケアの協働」実施：山梨市(2017年～現在)		
G	組織統治	11 リスクマネジメントの推進	グループ全体のリスクマネジメント体制を強化する	網羅的・総合的なグループ全体のリスク管理推進	・網羅的・総合的にグループ全体のリスク管理を継続推進 ・執行役員会・定例取締役会にて、リスクマネジメント進捗状況を報告(毎年1回)
		12 コンプライアンスの浸透 5 10 16	グループ全体でコンプライアンス活動の実効性を強化する	・コンプライアンス管理体制の構築 1) 企業行動憲章・行動指針の周知拡大(グローバル) 2) コンプライアンスに関する研修受講率100%(国内)	1) 「ライオン人権方針」「ライオン贈収賄防止指針/ガイドライン」「AL心のホットライン」等、コンプライアンスに関する教育実施(国内)「ライオン人権方針」「ライオン贈収賄防止指針/ガイドライン」「AL心のホットライン」等、コンプライアンスに関する説明会実施(海外) ・企業行動憲章・行動指針の周知度を把握することを目的に、海外版コンプライアンス意識調査アンケートの実施準備(海外) ※英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語 2) コンプライアンスに関するe-ラーニング受講率(国内)：81.0% ※2020年よりシステムを変更 <参考> 100%(2018年)、100%(2019年) ・コンプライアンス意識調査アンケート回答率(国内)：91.8% <参考> 95.0%(2018年)、92.8%(2019年)
		13 グループ・ガバナンスの強化 16	グループ全体のガバナンス強化に取り組む	「コーポレート・ガバナンス基本方針」に則したグループ・ガバナンス体制の整備	「コーポレート・ガバナンス基本方針」に則してガバナンス強化を推進 ・贈答・接待の実態調査結果に基づき「贈答・接待基準」を施行(国内) ・「贈収賄防止ガイドライン」の概要説明会実施(海外)

\* 1 2018年までは「環境保全推進委員会」として実施。  
\* 2 生産性の向上を目指して、密度の高い仕事を進める働き方。